在日米軍司令官、第36空輸中隊のC-130を飛行

USFJ Commander flies with the 36th AS

March 8, 2016

Original text by Staff Sgt. Michael Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

飛行前の機体チェックを行う、在日米軍兼第5空軍司令官ジョン・ドーラン中将と第36空輸中隊C-130パイロットのエロール・ケルター大尉。

有事の際の即応態勢を維持するための飛行訓練で、同中将が第36空輸中隊のC-130を操縦したのは初めて。

C-130ハーキュリーズを操縦し、伊豆半島沖合を飛行する在日米軍兼第5空軍司令官ドーラン中将。F-16ファイティング・ファルコンのパイロット経歴を持つ同中将は、このたび初めてC-130を飛行した。

横田基地上空で、シミュレーションした低コスト低高度投下物資をC-130の機体後方から投下する、ドーラン中将と第36空輸中隊ロードマスターのリチャード・ラフランス曹長。

（３月４日撮影）